

教 養 問 題

平成26年5月施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は全部で40題あり、ページ数は44ページです。
3. 解答時間は2時間です。
4. 解答方法は次のとおりです。

例 [No. 1] 日本の首都として、正しいのはどれか。

1. 京都 2. 福岡 3. 東京 4. 大阪 5. 広島

正答は「3. 東京」ですから解答用紙の問題番号の次に並んでいるマーク欄 ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を鉛筆又はシャープペンシルで ● のようにマークして ① ② ● ④ ⑤ とすれば正解になります。

5. 各問題とも、正答は1つだけです。2つ以上マークした場合は誤りとなります。
6. 解答に当たっては、解答用紙に記載された**注意**をよく読んでください。
7. 計算を要する場合は、この冊子の余白を利用してください。**解答用紙は絶対に使ってはいけません。**
8. この冊子は持ち帰ることができますが、**解答用紙は絶対に持ち帰らないでください。**

[No. 1] 次の文につながるようA～Fを並べかえて一つのまとまった文章にする場合、最も妥当なのはどれか。

みなさんは、自分がどのようにして生れて来たのか、知っていますか？ 誰でも、自分が生れたときは、なにもわからない赤ちゃんなので、自分の体験であっても覚えてはいません。

- A この世のなかには、自分と同じように現実に生きて生活している人がたくさんいます。その人たちも、自分と同じ人間として同じような一生をすごすのです。
- B しかし直接に知らなくても、間接に知る方法があります。それは、自分以外の赤ちゃんがどのようにして生れたか、それを考えてみることです。
- C そのときには、むこうがわに現実の自分がいるのですから、その赤ちゃんの自分を見ているこちらがわの自分は「もう一人の自分」です。
- D たとえば、昔の自分のお父さんになって、赤ちゃんの自分が生れてくるのを見ていることになります。
- E ちょうど、ガラスの鏡に写っている顔の映像を、そこに現実の自分の顔があると考えるように、自分の前で生れてくる誰かの赤ちゃんを、そこに昔の現実の自分が生れてくるものと考えればいいのです。
- F ですから、自分以外の人たちは、自分にとって鏡と同じ役割をしてくれます。誰かに赤ちゃんが生れるなら、それは自分が赤ちゃんとして生れたときと同じことが起るわけです。

(三浦つとむ「こころとことば」による)

1. A－B－C－F－E－D
2. A－F－C－E－D－B
3. B－A－F－E－C－D
4. B－D－E－C－A－F
5. B－E－A－C－D－F

[No. 2] 次の文章で述べられていることとして、最も妥当なのはどれか。

日本語には元来、^{こと}事と^{こと}言との区別がなかった。「古代社会では口に出したコト（言）は、そのままコト（事実・事柄）を意味したし、また、コト（出来事・行為）は、そのままコト（言）として表現されると信じられていた。それで、言と事とは未分化で、両方ともコトという一つの単語で把握された」（『岩波古語辞典』、「こと」の項）。ところが奈良・平安時代以後になると両者は次第に分化してきて、「言」は「コト（言）のすべてではなく、ほんの^{はし}端にすぎないもの」（同、「ことば」の項）を表す「ことのは」、「ことば」として^{こと}事から独立するようになった。

このようにして、言葉というものは本来の^{こと}ことのごく表面的な一端を表現するにすぎないものと考えられるようになった。しかし、それから長い歴史を経た今日に至っても、^{こと}事と^{こと}言の分化がすっかり完成しているとはまだ到底いえない。この花が赤いという^{こと}ことは、もちろんその全部が「この花は赤い」という^{こと}ことばによって表現されつくせるものではない。そしてそのかぎりでは、この^{こと}ことばは、この花が赤いという^{こと}こと、赤い花が私の眼の前にあるという^{こと}こと、私がそれを眺めて美しいと感じている^{こと}こと等々の、現在私のもとに現前している^{こと}ことの世界のごく一端を言い表しているにすぎない。しかしそれにしても、「この花は赤い」という^{こと}ことばを用いなかったならば、この花が赤いという^{こと}ことを表現したり伝達したりすることは不可能である。^{もの}ものはその実物を眼の前に示すことによって確認を求めることができるだろう。これに反して、^{こと}ことは眼に見えるように呈示することができない。^{こと}ことは^{こと}ことばによって語り、それを聞くことによって理解する以外ないのである。

^{もの}ものが眼の前に示されるものであり、眼で見られるものであるということは、外部空間に位置を占める可視的な物体について言われうるだけではない。個々の三角形として可視的なものとなる以前の、三角形の^{イデア}イデアのようなものも、肉眼によってではないにしても、なんらかの意味で見られるものであることに変わりはない。ギリシャ以来の西洋の思想においては、事物の本質は^{エイドス}エイドスすなわち形相として「見る」はたらきの対象とされてきた。

これとほぼ並行したことが、^{こと}ことについてもいえる。^{こと}ことは^{こと}ことばによって語られ、聞かれるものである。しかし、これは必ずしも言語的に分節され、構音された言葉として語られたり聞かれたりすることにかぎられるわけではない。^{こと}ことばの語

源が教えてくれるように、言葉によってとらえられるのはことの表層部分にすぎない。ことの本質は、むしろ言語によっては語り出しえず、言語からは聞き取りえないところに潜んでいる。しかしそのような場合でも、われわれはやはり「聞く」という言いかたができるだろう。西田幾多郎が「声なきものの声を聞く」と書いたのも、まさしくその意味においてであったのだろう。

もの的にとらえられた「存在」が見る対象として客観的に理論化されるのとは違って、あくまでこと的な性格を失わない「あるということ」は、一つの沈黙の声として聞くという仕方ではしか知りえない。

(木村敏「時間と自己」による)

1. 日本語には元来、事と言の区別がなかったが、奈良・平安時代以後から両者は次第に分化してきて、今日では明確に区別されている。
2. この花が赤いということは、赤い花の実物を眼の前に示すことによって確認を求めることができる。
3. 三角形のアイデアのような外部空間に位置を占める可視的な物体でなくても、ものは眼の前に示されるものであり、肉眼によって見られるものである。
4. ことはことばによって語られ、聞かれるものであるが、言葉によってとらえられるのはことの表層部分にすぎない。
5. こと的な性格を失わない「あるということ」ももの的にとらえれば、見る対象として客観的に理論化される。

〔No. 3〕 次の文章で述べられていることとして、最も妥当なのはどれか。

私たちが生きている世界は、人々が自分自身の生活のスタイルを、自分自身で選ぶ権利をもっていると考えている世界です。どのような信念を持つかは各人が決めるのです。昔は、人々は自分自身を、神にせよ、宇宙にせよ、自然にせよ、より大きな秩序のうちに抱かれた、その一部分と見ていました。現代人の自由は、これらの秩序から離脱することから生じたのです。かつては、これらの秩序が個人と社会生活に意味を与えていたのです。

しかし、より大きな社会的宇宙的地平を失うことによって、人はなにか重要なものを失ったのではないのでしょうか。人々はもはやより高い目的についての感覚をもたず、そのために死ぬる何ものかについての感覚をもっていません。われわれは情熱を欠いているのです。キルケゴールは現代を情熱の欠如の時代と見ました。『ツァラトゥストラ』で語られるニーチェの末人は、この没落の最底辺にいる人間を象徴しているでしょう。ニーチェの罵る末人は「わずかな教養と、健康と、少量の快樂から成る小さな幸福」のほかには人生になんの期待ももっていません。人々は小市民の生の小さな満足に専心し、それによって広い視野を失い、情熱をかたむけるべき理想を失い、人生を平板化し、貧弱にしまったのです。

現代に蔓延^{まん}している価値に関する主観主義においては、ものごとはそれ自身で意味をもつのではなく、私たちがそれを有意味だと思ふから、意味をもつこととなります。あたかも、私たちが選択することによって、あるいは、ただそう思うことによって、何が有意味であるかを決めうるかのようです。しかし、だれかがある思いを抱くことは、その人の思いが有意味であることの十分な根拠にはなりません。なぜなら、人の思いは、なにが有意味であるかを決定できないからです。

すべての人の思いを真理とするプロタゴラスの立場は、プラトンが批判したように、自分自身の否定に到らざるをえないのです。なぜなら、プロタゴラスの立場を否定する立場をも真としなければならないからです。相対主義では、すべての選択は等値です。そうなると、プラトンの言い草をここで借りれば、賢人と愚者の区別もなくなり、それどころか人間と豚の区別もなくなり、すべては混沌^{とん}として等価ということになるでしょう。このことの含意することは、選択された事柄自体にはなんの価値もないということなのです。

しかし、ある選択されたことがらが他の選択されたことがらよりもそれ自体としてより意味があるのでなければ、「自分が選択する」という観念自体が些末な^{きまつ}こと、ほとんど無意味なことへと落ち込んでしまうでしょう。昼飯にカレーライスを食べるかラーメンを食べるかは、どちらを選択したところで大した意味はありません。理想であるはずの自己選択が意味をもつのは、ただ、あることが他のことよりも重要であり、それ自体として意味があるからです。

別様に言えば、私は、ただ私の自己同一性を、つまり本来的な自己を、重要な事柄を背景にしてのみ規定することができるのです。歴史的状況、地球環境の要請、発展途上国の苦境、市民の義務、神の召命、もっと身近な問題に目を注いでも、隣人の苦しみ、不正への抵抗などなど、なにかこのような自分を超越するものが決定的に問題になるような世界の中でのみ、私は自分自身のために些末ではない自己のあり方を規定できるのです。本来性は、このような要求を前提にして成立するのです。

(岩田靖夫「よく生きる」による)

1. 人々は、自分自身をその一部分であると思っていた大きな社会的宇宙的秩序から離脱できたがゆえに、現代においては、より高い目的について十分に自覚しており、各人がなにごとにも自由に決めることができる。
2. ものごとは、私たちがそれを有意味だと思うから、意味をもつことになるのであるが、現代人は、人生のあらゆることになんの期待ももっておらず、ものごとを有意味だと思うことに対する情熱に欠けている。
3. すべての人の思いを真理とするプロタゴラスの立場に対し、プラトンは、「選択した事柄自体には何らかの価値はあるが、すべての選択は等値になり、賢人と愚者の区別もつかなくなる。」旨の批判をしている。
4. 昼飯をカレーライスとするかラーメンとするかの選択は、どちらを選択しても大した意味はないが、自己選択は、「自分が選択する」ことに意味があり、そうでなければ自己選択の観念自体が些末な^{きまつ}ことへと落ち込んでしまう。
5. 本来的な自己は、なにか自分を超越するものが決定的に問題になるような世界の中でのみ規定することができるのであり、本来性は、このような要求を前提にして成立する。

[No. 4] 次の文章の空欄A～Dに当てはまる語句の組合せとして、最も妥当なのはどれか。

何か目的とか目論見というものがあって、それを手順を踏んで実現しようとする、そういう「に行動する能力」というものは、人類の歴史上、比較的最近になって備わるようになった、な能力に基づくものだと思います。それは、当然のこととして、理由とか証拠に基づいて推論する能力というものを含んでしょう。また、いくらか遠い未来を想像する能力だけではなくて、過去の出来事をする能力を含むものでもあると思われれます。さらには、感情的な行動を、何らかの仕方で制御する能力を含むものでもあると思われれます。もし感情的な行動を制御することができないとすれば、目的を実現するというのも、当然、危うくなると思われるからです。

過去の出来事をする能力というものが無い場合には、規則を発見するとか正しいやり方を見出すというようなことができなくなると思われます。正しいやり方（正しい石刃の作り方とか正しい火のおこし方）というような意味での「正しさの概念」のようなものは、実は相当に早い段階で登場した可能性があります。しかしながら、目的の実現を目指してに行動する能力が十分発達しない段階では、そのような概念が実質的な意味を持つことはなかったと思えます。に行動する能力を持つようになるというのは、単に未来時制を使いこなせるようになるということではなくて、目的・目標あるいは狙いを定める、目的・目標を達成するための手段とか手順を選択して決める、予想される結果とか成果と、それを獲得するために犯す危険の大きさ^{ほかり}とを、何らか^{ほかり}秤にかける、少なくともそういったことができるようになることでしょう。ですから、当然のこととして、「選択する」とか「秤にかける」ということができるようになるために、「正しい」とか「よい」というような、最も基礎的な表現が使えるようになるということでもあると思えます。恐らくは、「よい」に対応するような、(対象を選ばず、何にでも使える上に、どんな意味にも使えるという意味で) 万能的な表現が使えるようになるということが、決定的であったのではないかと思います。選択肢を比較検討して、どちらがよいか、どうするのがよいか、そういうことを決めることが、結局は問題であったと思われるからです。そういう意味で

は、この種の 表現が使えるようになることは、理性的と言われるような存在になるための、必要条件の一つであると考えられます。

(岡部勉「合理的とはどういうことか」による)

	A	B	C	D
1.	計画的	実践的	一般化	道徳的
2.	計画的	総合的	一般化	評価的
3.	計画的	総合的	相対化	道徳的
4.	周到	実践的	一般化	道徳的
5.	周到	総合的	相対化	評価的

[No. 5] 次の英文の中で述べられていることと一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

What Dacey thought, leaning back against her chair, her stomach stretched taut*, was that the chestnuts* were worth the trouble, the whole meal was worth the trouble. They sat around the dark dining room table, the five Tillermans and Mr. Lingerle. Outside, gray clouds crowded down on the land. Inside, the yellow firelight* and the small electric lights on the walls made it feel like evening, instead of midafternoon.

James and Mr. Lingerle ate on, and the big bowls of sweet potatoes and mashed potatoes, of beans and corn and tomatoes, all were half-empty. The turkey, which Mr. Lingerle had carved with unexpected skill, was almost half-eaten. Dacey thought about asking for another piece of the crisp skin, but decided that if she did she wouldn't be able to force down even a polite bite of the two pies Mr. Lingerle had waiting for them. Sammy sat beside her, moaning with contentment*. Gram* leaned forward, her elbows beside her plate, her curly hair brushed into order, her face—thoughtful and quiet. Maybeth's round eyes kept looking around the table, and her hands were quiet, in her lap.

Maybe it was because they never had celebrated Thanksgiving before. For a piercing instant, Dacey longed for Momma* to be with them, sitting on the other side of Sammy, to complete the picture. That was the trouble with being happy, it made you remember other things. Dacey looked at Gram and wondered what Gram was thinking of. She wondered if Gram was remembering other Thanksgivings, and other faces at her table. Momma was one of those, too.

(Cynthia Voigt 「Dacey's Song」による)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| * taut……びんと張られた | * chestnut……クリの実 |
| * firelight……炉火の光 | * contentment……満足 |
| * Gram……おばあさん | * Momma……ママ |

1. ダイシーは、椅子に背中をもたせかけることなく、おなかをぴんとのぼし、クリの実もほかの食事も、味にもう一工夫を加えるべきだったのではないかと考えていた。
2. リンゲールさんが思いもよらないほど上手な腕前で味付けした七面鳥の肉は、ジェームズが一人だけで、ほぼ半分まで食べてしまっていた。
3. ダイシーは、皮をカリカリになるまで上手に焼く方法について尋ねようと思ったが、それを尋ねると、リンゲールさんのおみやげのパイの作り方まで聞き出すことはできなくなると考え、がまんすることにした。
4. メイベスの丸い目は、テーブルの上を見まわしていたが、手は静かにひざの上に置かれていた。
5. 感謝祭のお祝いが初めてできたことから、ダイシーは、ほんの一瞬、来年のお祝いでは、今年はいなかったママがサミーのそばにすわっている写真をとりたいと考えた。

[No. 6] 次の英文の中で述べられていることと一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

Fast forward ten years or so, and Johnny and I are at secondary school together. It's break time, and he comes over to me and asks if he can borrow my history assignment. He's 'left his at home' – and guess which class is next?

'Don't worry,' says Johnny. 'There'll be no way of telling. I'll make it look completely different.'

I hand him the assignment, and catch up with him again at the beginning of class. 'You got my assignment, Johnny?' I whisper.

Johnny shakes his head. 'Sorry,' he says. 'No can do.'

I start to panic. This particular teacher isn't the kind you mess with. No assignment would mean no grade. Plus detention.

'What do you mean, no can do?' I hiss. 'Where is it?'

Calm as you like, as if he's narrating* a bedtime story, Johnny spills the beans. 'Well, Kev, it's like this,' he explains. 'You see, I didn't have time to rewrite* it, like I'd said. So, I copied it out verbatim*.'

'But,' I shriek*, as the teacher, who's not exactly noted for his people skills, barrels into the classroom, 'that doesn't explain where mine is, does it?'

Johnny looks at me as if I'm utterly insane*. 'Well, we couldn't both hand in the same piece of work, could we?' he says.

'No!' I exclaim, clearly still not getting it. 'We couldn't! So where the hell's my assignment?'

Johnny shrugs. And takes out 'his' work, for collection.

'It's in the bin,' he says, casually. 'Behind the music block.'

(Kevin Dutton 「The Wisdom of Psychopaths」による)

* narrate……物語る * rewrite……書き直す

* verbatim……逐語的に * shriek……金切り声を出す

* insane……正気でない

1. ある日、休み時間にジョニーがやってきて、歴史の宿題を家でやってこなかったから、わたしのレポートを貸してくれと言った。
2. 休み時間が終わると、ジョニーはわたしのそばにやってきて、わたしのレポートは返せないと言った。
3. ジョニーは落ちつき払って、まるで寝物語でもするように、「実は、書き換える暇がなくて、おまえのレポートを丸写ししちゃった」と秘密を打ち明けた。
4. ジョニーは、おまえは本当にどうかしているぞとでも言いたげな目でわたしを見て、「ふたりそろって同じレポートを出すしかない」と言った。
5. ジョニーは肩をすくめてみせて、音楽棟の裏のゴミ箱の中から、わたしのレポートを取り出した。

[No. 7] 次の英文の中で述べられていることと一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

Then, in 2009 a group of researchers funded by the National Institutes of Health published a study of a different approach to weight loss. They had assembled a group of sixteen hundred obese* people and asked them to concentrate on writing down everything they ate at least one day per week.

It was hard at first. The subjects forgot to carry their food journals, or would snack and not note it. Slowly, however, people started recording their meals once a week—and sometimes, more often. Many participants started keeping a daily food log. Eventually, it became a habit. Then, something unexpected happened. The participants started looking at their entries and finding patterns they didn't know existed. Some noticed they always seemed to snack at about 10 A.M., so they began keeping an apple or banana on their desks for midmorning munchies*. Others started using their journals to plan future menus, and when dinner rolled around, they ate the healthy meal they had written down, rather than junk food from the fridge.

The researchers hadn't suggested any of these behaviors. They had simply asked everyone to write down what they ate once a week. But this keystone* habit—food journaling—created a structure that helped other habits to flourish. Six months into the study, people who kept daily food records had lost twice as much weight as everyone else.

(Charles Duhigg 「The Power of Habit」による)

* obese・・・肥満した * munchies・・・軽食 * keystone・・・根本原理

1. ある研究者グループは、1,600人の肥満患者を集め、毎日、自分が食べたものをすべて書き留めるように依頼した。
2. 参加者の多くは、最初から、少なくとも週に一度は、食事をきちんと記録していたが、やがて毎日記録するようになった。
3. 参加者は、自分の書いた食事記録を見直し、それまで知らなかった一定のパターンがあることに気がつくようになった。
4. 研究者たちは、参加者に、食べたものを書き出すように頼んだだけでなく、食事記録を見直すよう助言をしていた。
5. 週に一度食事記録をつけていた人たちは、研究が始まって6か月後、まったくつけていなかった人の2倍も体重が落ちた。

〔No. 8〕 次の英文の中で述べられていることと一致するものとして、最も妥当なのはどれか。

Mother was seeing me off at Dearborn Station in Chicago. We'd come in a taxicab because of my trunk. But Mother would ride back home on the El*. There wasn't much more than a nickel in her purse, and only a sandwich for the train in mine. My ticket had pretty well cleaned us out.

The trunk, a small one, held every stitch of clothes I had and two or three things of Mother's that fit me. "Try not to grow too fast," she murmured. "But anyway, skirts are shorter this year."

Then we couldn't look at each other. I was fifteen, and I'd been growing like a weed. My shoes from Easter gripped my feet.

A billboard across from the station read:

WASN'T THE DEPRESSION AWFUL?

This was to make us think the hard times were past. But now in 1937 a recession had brought us low again. People were beginning to call it the Roosevelt recession.

Dad lost his job, so we'd had to give up the apartment. He and Mother were moving into a "light housekeeping" room. They could get it for seven dollars a week, with kitchen privileges, but it was only big enough for the two of them.

My brother Joey—Joe—had been taken on by the Civilian Conservation Corps* to plant trees out west. That left me, Mary Alice. I wished I was two years older and a boy. I wished I was Joey.

But I wasn't, so I had to go down to live with Grandma Dowdel, till we could get on our feet as a family again. It meant I'd have to leave my school. I'd have to enroll* in the hick*-town school where Grandma lived. Me, a city girl, in a town that didn't even have a picture show.

(Richard Peck 「A Year Down Yonder」による)

* El……高架鉄道 * Corp……企業 * enroll……入学する

* hick……田舎の

1. 母と私は、私が祖母のところに行くために、私の身の回りをすっかり整理する一方、切符の他にも、私の旅に必要なものを色々と購入した。
2. 母は、私のトランクにつめたスカートはすべて私には丈が短かったので、私があまり早く成長しないようにと願っていた。
3. 15歳の私は、雑草のようにぐんぐん身長が伸びていたが、足の成長は遅く、イースターの頃から履いている靴は、ゆったりと私の足を包み込んでいた。
4. 父と母は、入居を希望していたアパートを諦め、維持管理が不十分で、2人暮らしにはぎりぎりの広さしかない別のアパートへ引っ越した。
5. 私は、私たちが再び一つの家族として経済的に独立できるようになるまで、祖母と一緒に暮らし、映画館もない田舎町の学校に入学しなければならなかった。

〔No. 9〕 6つの商業施設A～Fについて、所在地と業態分類を調べたところ、以下のことが分かった。

ア A、B、C、Dのうち、東京にあるものは2つであり、百貨店は2つである。

イ B、C、D、Eのうち、東京にあるものは1つであり、百貨店は2つである。

ウ C、D、E、Fのうち、東京にあるものは2つであり、百貨店は1つである。

以上から判断して、確実にいえるのはどれか。

1. Aは、東京にあるが、百貨店ではない。
2. Cは、東京にはないが、百貨店である。
3. Dは、東京にあるが、百貨店ではない。
4. Eは、東京にはないが、百貨店である。
5. Fは、東京にあるが、百貨店ではない。

[No. 10] A～Eの5人が、登山をしたときに山頂へ到着した順番について、それぞれ次のように発言している。

A 「私はDの次に到着した。」 「CはEの次に到着した。」

B 「私はEの次に到着した。」 「Aは最後に到着した。」

C 「私はBの次に到着した。」 「EはDの次に到着した。」

D 「私は最後に到着した。」 「BはEの次に到着した。」

E 「私はAの次に到着した。」 「AはCの次に到着した。」

5人の発言の一方は事実であり、他方は事実ではないとすると、最初に到着した人として、正しいのはどれか。ただし、同着はないものとする。

1. A
2. B
3. C
4. D
5. E

[No. 11] 1～9の異なる9つの整数が1個に1つずつ書かれた9個のボールが入った袋から、無作為に2個のボールを取り出すとき、2個のボールに書かれた整数の積が偶数になる確率として、正しいのはどれか。

1. $\frac{11}{18}$

2. $\frac{2}{3}$

3. $\frac{13}{18}$

4. $\frac{7}{9}$

5. $\frac{5}{6}$

[No. 12] 30本のくじの中に、1等の当たりくじが1本、2等の当たりくじが2本、3等の当たりくじが7本入っている。ここから同時に4本を引いたとき、1等、2等及び3等の当たりくじがそれぞれ1本のみ含まれている確率として、正しいのはどれか。

1. $\frac{2}{3915}$

2. $\frac{4}{3915}$

3. $\frac{8}{3915}$

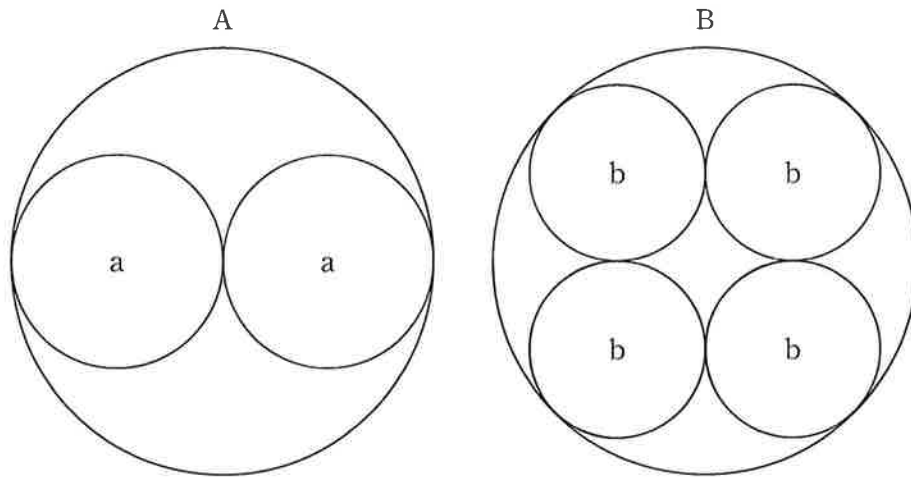
4. $\frac{2}{783}$

5. $\frac{8}{783}$

[No. 13] ある映画館の入場券には、1,300円の大人券、800円の子供券及び2,000円の親子ペア券の3種類がある。ある日の入場券の販売額の合計が272,900円であり、大人券の販売枚数が親子ペア券の販売枚数の半分より9枚少なく、販売枚数が最も多いのが親子ペア券、次が子供券、最も少ないのが大人券であったとき、大人券の販売枚数として、正しいのはどれか。

1. 36枚
2. 37枚
3. 38枚
4. 39枚
5. 40枚

[No. 14] 下図のように、直径の等しい2個の円A及び円Bがある。円Aには直径の等しい2個の円aが円Aの中心で互いに接しながら内接し、円Bには直径の等しい4個の円bがそれぞれ他の2つの円bに接しながら内接しているとき、1個の円aの面積に対する1個の円bの面積の比率として、正しいのはどれか。



1. $3 - 2\sqrt{2}$
2. $6 - 4\sqrt{2}$
3. $9 - 6\sqrt{2}$
4. $12 - 8\sqrt{2}$
5. $15 - 10\sqrt{2}$

[No. 15] 2進法で101011と表す数と、3進法で211と表す数がある。これらの和を7進法で表した数として、正しいのはどれか。

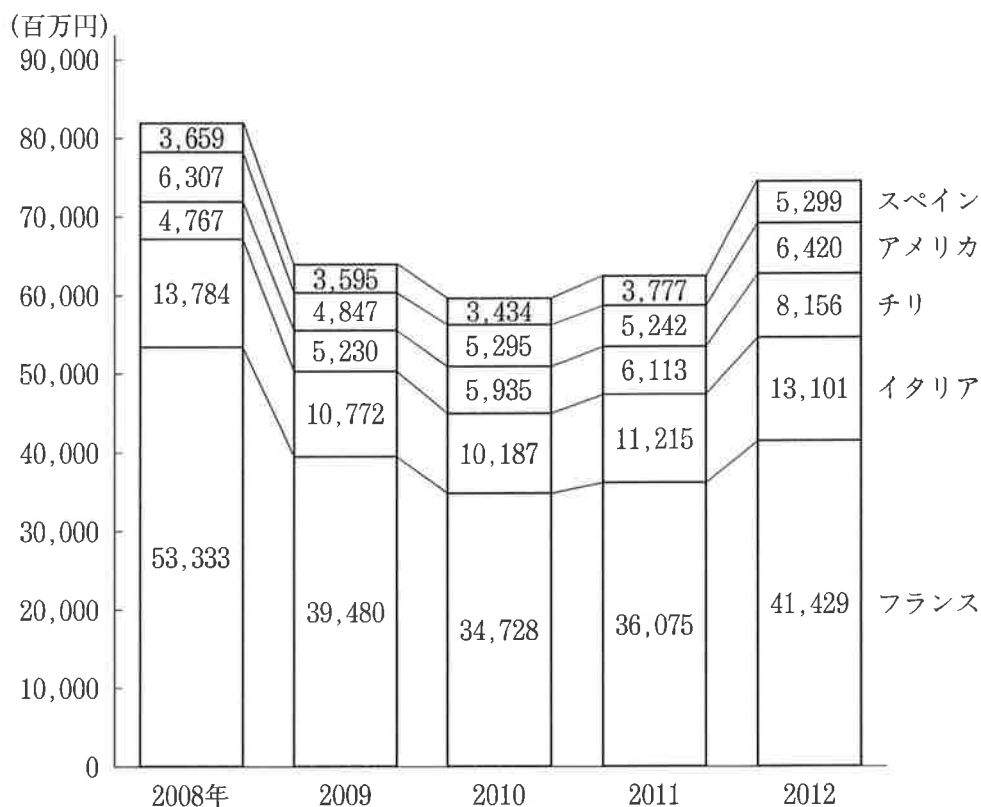
1. 22
2. 43
3. 65
4. 116
5. 122

[No. 16] 正の整数A及びBがあり、Aは、Aを18、27、45で割るといずれも8余る数のうち最も小さい数であり、またBは、31、63、79をBで割るといずれも7余る数である。AとBの差として、正しいのはどれか。

1. 180
2. 210
3. 240
4. 270
5. 300

[No. 17] 次の図から正しくいえるのはどれか。

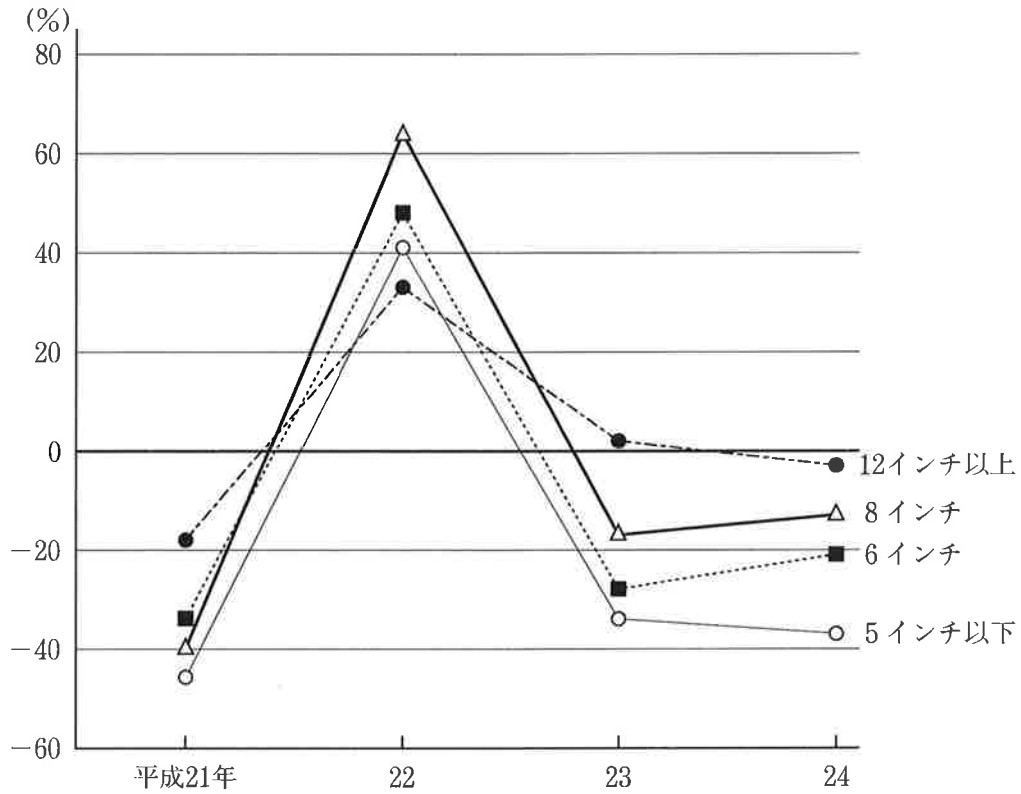
我が国におけるスティールワイン（2リットル以下）の5か国からの輸入金額の推移



- 2008年から2010年までの各年についてみると、5か国からの輸入金額の合計に占めるチリからの輸入金額の割合は、いずれの年も9%を下回っている。
- 2008年におけるフランスからの輸入金額を100としたとき、2012年におけるフランスからの輸入金額の指数は75を下回っている。
- 2009年から2011年までの各年についてみると、イタリアからの輸入金額に対するスペインからの輸入金額の比率は、いずれの年も0.3を上回っている。
- 2010年から2012年までの3か年におけるアメリカからの輸入金額の1年当たりの平均は、6,000百万円を上回っている。
- 2012年における輸入金額の対前年増加率を国別にみると、最も大きいのはチリであり、次に大きいのはスペインである。

[No. 18] 次の図から正しくいえるのはどれか。

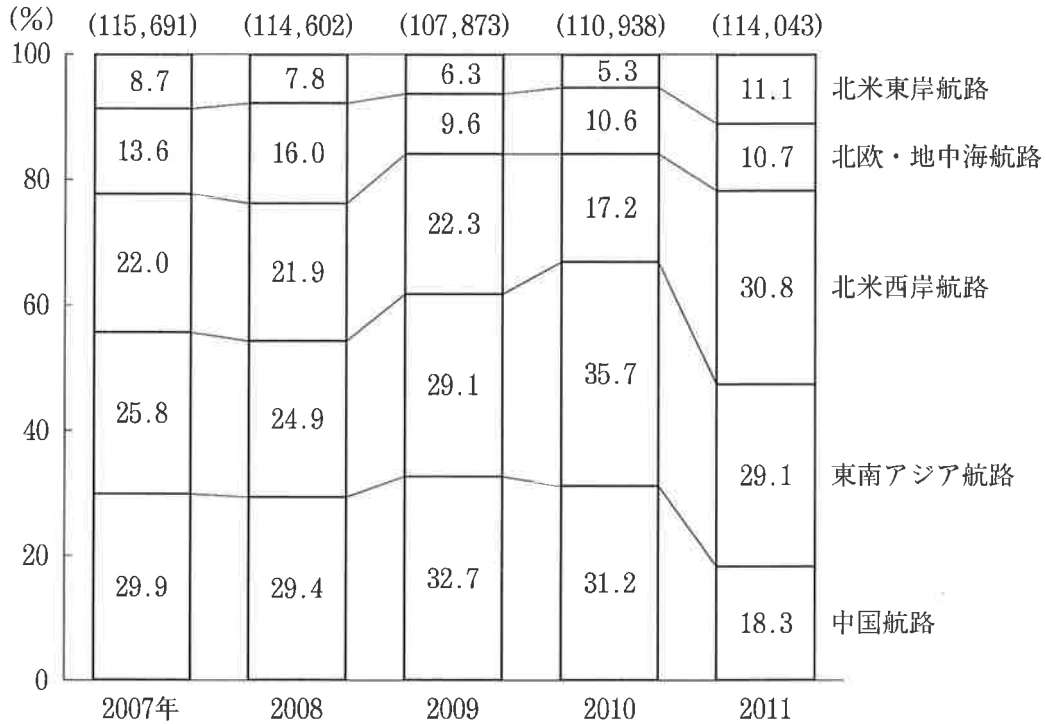
シリコンウエハのサイズ別生産量の対前年増加率の推移



- 平成20年の5インチ以下のシリコンウエハの生産量を100としたとき、22年の5インチ以下のシリコンウエハの生産量の指数は70を下回っている。
- 平成20年から23年までのうち、6インチのシリコンウエハの生産量が最も多いのは20年であり、最も少ないのは21年である。
- 平成21年から23年までの各年についてみると、8インチのシリコンウエハの生産量が前年に比べて減少した年は、いずれの年も12インチ以上のシリコンウエハの生産量は前年に比べて減少している。
- 平成22年から24年までの各年についてみると、8インチのシリコンウエハの生産量に対する6インチのシリコンウエハの生産量の比率は、いずれの年も前年に比べて増加している。
- 平成24年のシリコンウエハの生産量をサイズ別にみると、生産量が21年に比べて増加したのは12インチのシリコンウエハだけである。

[No. 19] 次の図から正しくいえるのはどれか。

東京港におけるコンテナ船総トン数の主要5航路別構成比の推移



(注) () 内の数値は総トン数(単位:千トン)を示す。

- 2007年についてみると、中国航路のコンテナ船総トン数は、東南アジア航路のコンテナ船総トン数を4,800千トン以上、上回っている。
- 2008年から2010年までのうち、北欧・地中海航路のコンテナ船総トン数が前年に比べ増加した年は、いずれの年も北米西岸航路のコンテナ船総トン数は前年に比べ減少している。
- 2009年から2011年までの各年についてみると、北米西岸航路のコンテナ船総トン数に対する北米東岸航路のコンテナ船総トン数の比率は、いずれの年も0.33を下回っている。
- 東南アジア航路のコンテナ船総トン数についてみると、2008年を100としたとき、2010年の指数は、145を上回っている。
- 北米東岸航路のコンテナ船総トン数についてみると、2009年から2011年の3か年の累計は、23,000千トンを下回っている。

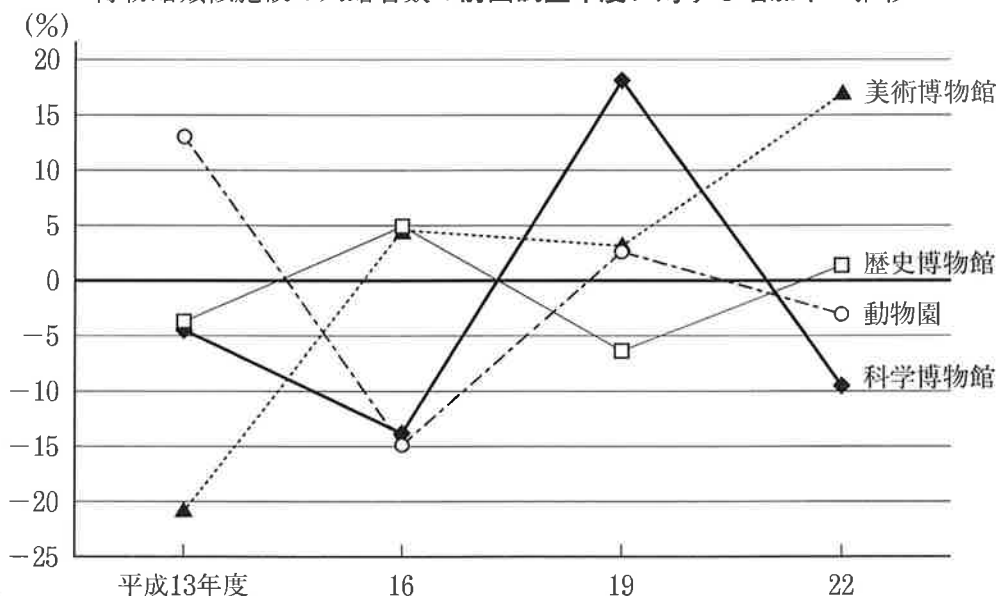
[No. 20] 次の図表から正しくいえるのはどれか。

博物館類似施設の入館者数の状況

博物館類似施設の入館者数（平成22年度） （単位：千人）

科学博物館	歴史博物館	美術博物館	動物園
19,251	58,211	28,316	14,648

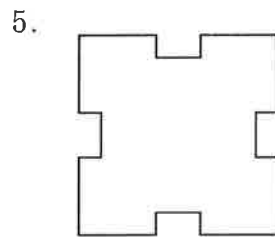
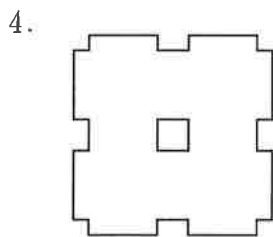
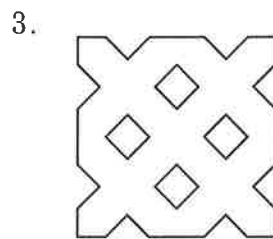
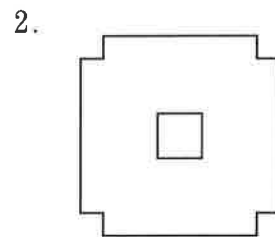
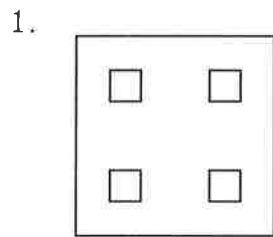
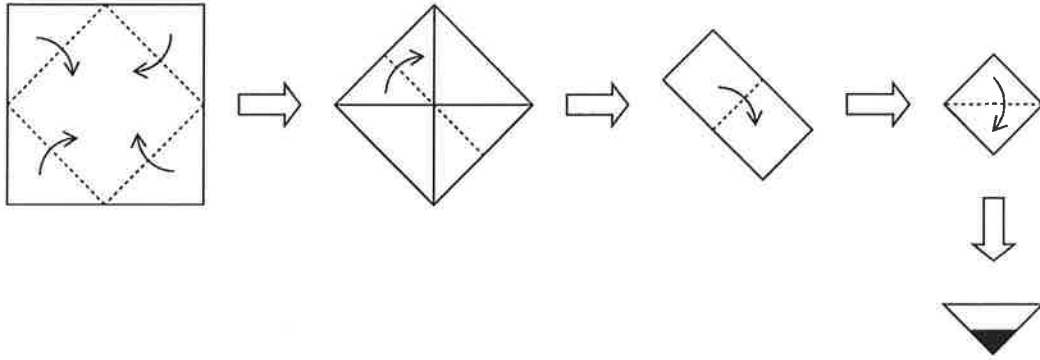
博物館類似施設の入館者数の前回調査年度に対する増加率の推移



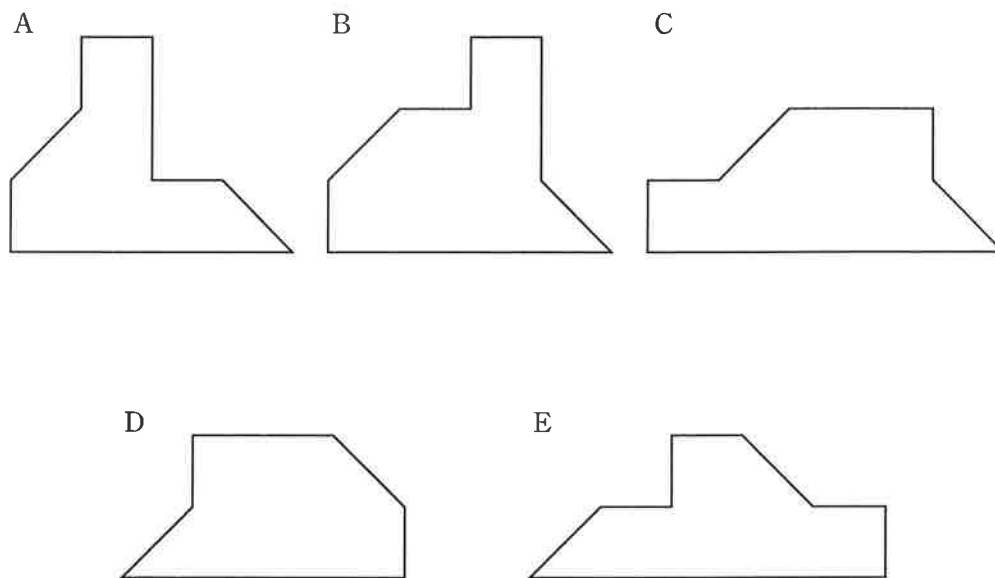
(注) 平成13年度の前回調査年度は平成10年度

- 平成10年度における美術博物館の入館者数を100としたとき、19年度及び22年度の各年度における美術博物館の入館者数の指数は、いずれも95を下回っている。
- 平成10年度、13年度及び16年度の3か年における科学博物館の入館者数の平均は、19,500千人を下回っている。
- 平成13年度、16年度、19年度及び22年度の各年度についてみると、歴史博物館の入館者数が前回調査年度に比べて増加した年度は、いずれの年度も動物園の入館者数が前回調査年度に比べて増加している。
- 平成16年度における歴史博物館の入館者数と科学博物館の入館者数との差は、45,000千人を上回っている。
- 平成19年度における動物園の入館者数に対する美術博物館の入館者数の比率は、13年度における動物園の入館者数に対する美術博物館の入館者数の比率を上回っている。

[No. 21] 下図のように、正方形の紙を点線を谷にして矢印の方向に折り畳み、出来上がった三角形の黒い部分を切り取ったとき、残った紙を広げた形として、正しいのはどれか。

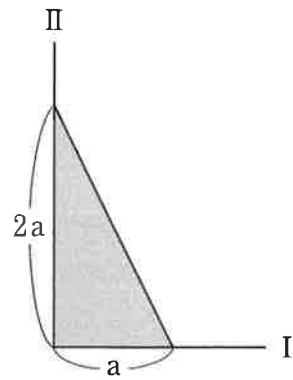


[No. 22] 下図のようなA～Eの5個の図形から4個を選んで、すき間なく、かつ重なり合うことなく並べ合わせて正方形をつくる時、**必要でない**図形として、妥当なのはどれか。ただし、いずれの図形も裏返さないものとする。



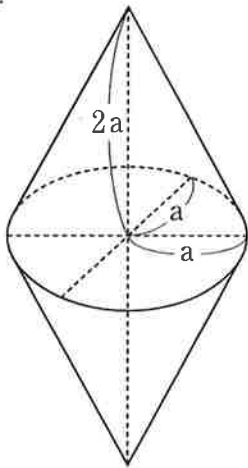
1. A
2. B
3. C
4. D
5. E

[No. 23]

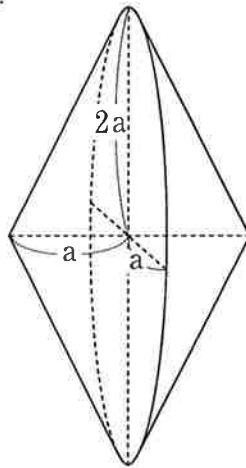


左図のような図形を、軸 I を中心に一回転させてできた立体を、次に軸 II を中心に一回転させたときにできる立体として、正しいのはどれか。

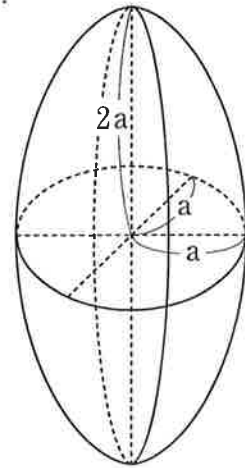
1.



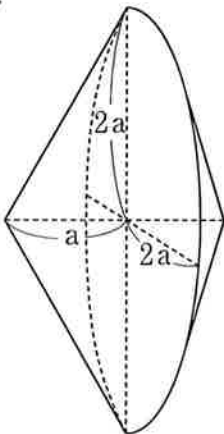
2.



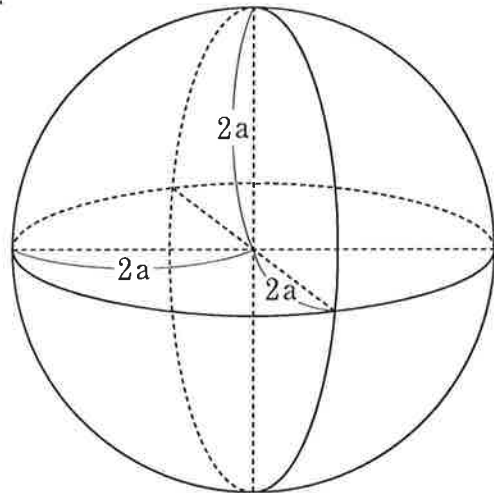
3.



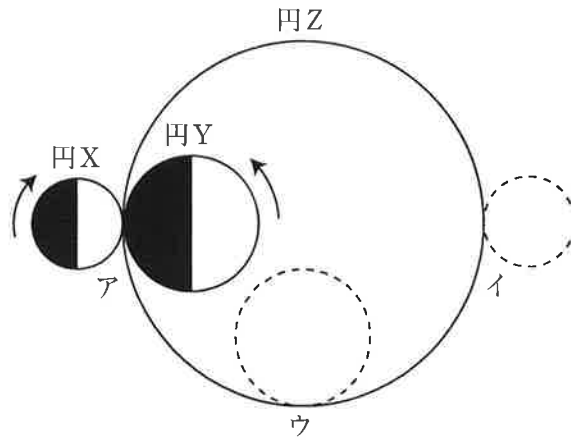
4.



5.



[No. 24] 下図のように、同一平面上で、直径 $4R$ の円 Z に、半分が着色された直径 R の円 X 及び直径 $\frac{3}{2}R$ の円 Y が、アの位置で接している。円 X 及び円 Y が、それぞれ矢印の方向に円 Z の円周に接しながら滑ることなく回転し、円 X は円 Z を半周してイの位置で停止し、円 Y は円 Z を $\frac{3}{4}$ 周してウの位置で停止したとき、円 X 及び円 Y の状態を描いた図の組合せとして、正しいのはどれか。



- | | 円X | 円Y |
|----|----|----|
| 1. | | |
| 2. | | |
| 3. | | |
| 4. | | |
| 5. | | |

〔No. 25〕 明治政府の初期の政策に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 政府は、殖産興業を進めるため、先に設置した内務省に軍需工場や鉱山の経営、鉄道・通信・造船業などの育成にあたらせ、続いて設置した工部省に軽工業の振興、内国勸業博覧会の開催を行わせた。
2. 政府は、新貨条例を定めて円・銭・厘を単位とする新硬貨を発行するとともに、国立銀行条例を定めて全国に官営の国立銀行を設立し、そのうちの第一国立銀行を日本初の中央銀行に指定して唯一の紙幣発行銀行とした。
3. 政府は、西欧にならった近代的な軍隊の創設を目指して徴兵令を公布したが、平民は徴兵の対象には含まれず、武士の身分を失い生活に困窮していた士族のうち、満20歳以上の男子のみが徴兵の対象とされた。
4. 政府は、土地の売買を認め、土地所有者に地券を発行するとともに、課税の基準を収穫高から地価に改め、地価の一定割合を地租として土地所有者に金納させることにより、安定的な財源の確保を図った。
5. 政府は、民間による鉄道の敷設を奨励したため、日本鉄道会社により新橋・横浜間に日本で初めての鉄道が敷設されたほか、東海道線をはじめとする幹線鉄道の多くが民営鉄道として敷設された。

[No. 26] 下表は、各国の品目別の食料自給率を表したものであるが、A～Eに該当する国名の組合せとして、妥当なのはどれか。

各国の品目別の食料自給率

(単位：%)

	A国	B国	C国	D国	E国
穀類	26	68	101	125	241
いも類	78	63	85	96	82
野菜類	83	128	43	92	88
果実類	42	107	5	72	88
肉類	57	76	67	112	160
魚介類	53	26	47	66	32

(注) ・数値は2009年のものであり、重量ベースである。

・穀類とは、米、小麦、大麦、裸麦、雑穀を指す。

・いも類とは、かんしょ、ばれいしょを指す。

・野菜類とは、緑黄色野菜20品目及びその他の野菜31品目を指す。

・果実類とは、みかん、りんご及びその他の果実19品目を指す。

・肉類とは、牛、豚、鶏、鯨、馬、めん羊、やぎ及びうさぎの肉を指す。

・魚介類とは、魚類、貝類、その他の水産動物（いか、たこ、えび等）、海産ほ乳類（鯨は除く）のすべてを指す。

(出典：農林水産省「平成24年度食料需給表」より作成)

	A	B	C	D	E
1.	イギリス	イタリア	日本	オーストラリア	アメリカ
2.	イギリス	アメリカ	日本	イタリア	オーストラリア
3.	イタリア	イギリス	日本	アメリカ	オーストラリア
4.	日本	イギリス	イタリア	オーストラリア	アメリカ
5.	日本	イタリア	イギリス	アメリカ	オーストラリア

[No. 27] 古代ギリシアの思想家に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. アリストテレスは、「饗宴^{きやう}」や「国家」を著し、人間にとって大事なものは、ただ生きるということではなく、「よく生きる」ことだと説いた。
2. ソクラテスは、「無知の知」を説き、この知恵に基づいて観想的生活を送るところに人間の最高の幸福があると考えた。
3. タレスは、自然の秩序の根拠を自然そのもののうちに求め、「永遠に生きる火」を万物の根源であると考えた。
4. プラトンは、「ソクラテスの弁明」を著し、理想国家の実現のためには、イデアを認識する哲学者が統治しなければならないと説いた。
5. ヘラクレイトスは、「万物は流転する」と説き、万物の根源は「水」であると考えた。

[No. 28] 憲法改正に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 憲法改正についての国会の発議には、各議院において、総議員の4分の3以上の者が出席し、出席議員の3分の2以上の者の賛成を得なければならない。
2. 憲法改正についての国民の承認には、特別の国民投票又は国会の定める選挙の際に行われる投票において、その過半数の賛成を必要とする。
3. 憲法改正について国民の承認を経たときは、国会は、両議院の名で、改正前の憲法と一体を成すものとして、これを公布する。
4. 憲法は、その改正の限界に関して、憲法改正国民投票制を廃止する改正は許されない旨を明記している。
5. 憲法は、その制定後、一度も改正が行われたことはなく、憲法改正の国民投票に関する手続を定める法律も制定されないままとなっている。

[No. 29] 我が国の安全保障に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 国連憲章は、国連加盟国は固有の権利として個別的自衛権を有するが集団的自衛権は有しない、と定めており、我が国の自衛権の解釈もそれに従っている。
2. 保安隊は、警察予備隊へと改組され、その後、自衛隊法の成立により、陸上、海上及び航空の3つの自衛隊として編成・強化された。
3. 防衛費増大に歯止めをかけるため、三木内閣は、防衛関係費をGNPの1%以内とすると閣議決定し、歴代内閣は、現在までこの1%枠を堅持している。
4. 国連平和維持活動（PKO）協力法に基づき、湾岸戦争後、海上自衛隊の掃海艇が、ペルシア湾に派遣された。
5. イラク戦争を受けて成立したイラク復興支援特別措置法に基づき、陸上自衛隊が、イラクに派遣されて民間復興支援活動等にあたった。

[No. 30] 地域経済統合に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. A P E C（アジア太平洋経済協力）は、ロシアを含む太平洋を取り囲む国と地域の経済協力の枠組みのことで、オーストラリアの提唱により発足した。
2. E P A（経済連携協定）は、特定の国や地域の間で、物品の関税やサービス貿易の障壁等の削減・撤廃を目的とする協定のことで、昨年、日本はシンガポールとのE P A交渉を再開した。
3. F T A（自由貿易協定）は、貿易の自由化に加え、投資、人の移動や知的財産の保護等を含む幅広い経済関係の強化を目的とする協定のことで、日本、中国及び韓国は、3か国間でF T Aを締結している。
4. N A F T A（北米自由貿易協定）は、アメリカ及びカナダの2か国間の自由貿易協定のことで、関税の撤廃や労働力移動の自由化等を目指している。
5. T P P（環太平洋パートナーシップ）協定は、A S E A N（東南アジア諸国連合）全加盟国が参加している包括的な自由貿易協定のことで、関税の撤廃やサービスの自由化等を目指している。

[No. 31] 熱容量が 84J/K のティーカップに水 100g が入っており、水とティーカップの温度は両方とも 10°C となっている。このティーカップへ温度が 60°C の水 80g を加えて熱平衡の状態になったときの水とティーカップの温度として、正しいのはどれか。ただし、水の比熱は $4.2\text{J}/(\text{g}\cdot\text{K})$ とし、ティーカップと水の間以外の熱の出入りはないものとする。

1. 28°C
2. 30°C
3. 32°C
4. 34°C
5. 36°C

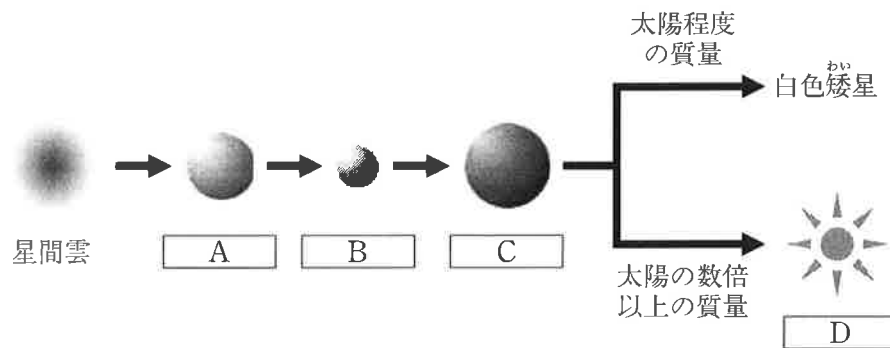
[No. 32] ある濃度の希硫酸 10.0mL を完全に中和するのに、 0.10mol/L の水酸化ナトリウム水溶液 8.0mL を要したとき、希硫酸のモル濃度として、正しいのはどれか。

1. 0.01mol/L
2. 0.02mol/L
3. 0.04mol/L
4. 0.08mol/L
5. 0.16mol/L

[No. 33] 赤色の花のマルバアサガオと白色の花のマルバアサガオとを交雑させると、次の世代にはすべて桃色の花が咲く。この桃色の花のマルバアサガオを自家受精させた場合に、次の世代に咲くマルバアサガオの花の色とその割合として、妥当なのはどれか。

1. 全部桃色の花が咲く。
2. 赤色の花 1、白色の花 1 の割合で咲く。
3. 赤色の花 1、桃色の花 1、白色の花 1 の割合で咲く。
4. 赤色の花 1、桃色の花 2、白色の花 1 の割合で咲く。
5. 赤色の花 2、桃色の花 1、白色の花 2 の割合で咲く。

[No. 34] 恒星の進化に関する次の図の空欄A～Dに当てはまる語句の組合せとして、妥当なのはどれか。



- | | A | B | C | D |
|----|------|------|------|------|
| 1. | 原始星 | 主系列星 | 巨星 | 超新星 |
| 2. | 原始星 | 超新星 | 主系列星 | 巨星 |
| 3. | 主系列星 | 巨星 | 原始星 | 超新星 |
| 4. | 超新星 | 巨星 | 原始星 | 主系列星 |
| 5. | 超新星 | 原始星 | 巨星 | 主系列星 |

[No. 35] 昨年7月に消費者庁が発表した「消費者白書」の内容に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 全国の消費生活センター等に寄せられた消費生活相談件数は、2004年度をピークに年々減少傾向にあるが、65歳以上の高齢者の相談件数は、2008年度以降、年々増加傾向にある。
2. 2012年度における65歳以上の高齢者の消費生活相談において、最も相談件数の多い商品・サービスは健康食品などの「食料品」であり、次に多いのは「金融・保険サービス」である。
3. 2003年度から2012年度までの10年間に於いて、「葬式」に関する消費生活相談件数は、全体では減少傾向にあるが、65歳以上の高齢者では増加傾向にある。
4. 2012年度の消費者意識基本調査によると、調査対象となった65歳以上の高齢者のうち、半数以上は「消費生活センターを認知かつ信頼している」と答えている。
5. 2012年度の消費者意識基本調査によると、この1年間で身近な高齢者が消費者トラブルにより被害を受けたと回答したケースのうち、半数以上は「主に高齢者本人がトラブルに対応した」と答えている。

[No. 36] 昨年起きた世界の出来事に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. アメリカでは、自動車産業の盛んなミネアポリス市が、巨額の負債を抱え、アメリカの自治体として初めて連邦破産法の適用を申請した。
2. イランでは、大統領選挙が行われ、アフマディネジャド前大統領とは一線を画し、欧米との対話や核開発計画の中止を主張するハメネイ師が圧勝した。
3. エジプトでは、軍のクーデターで大統領となったモルシ氏が、反対派による大規模なデモを受けて辞任し、大統領選挙でマンスール氏が後任に選ばれた。
4. 欧州連合（EU）では、旧ユーゴスラビアのセルビアが新たな加盟国となり、同時に、ユーロの導入国となった。
5. 国連では、安全保障理事会の非常任理事国の選挙が行われ、サウジアラビアが選出されたが、サウジアラビアはこれを辞退した。

[No. 37] 昨年5月に公布された「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 本法は、16歳以上の国民の一人ひとりに個人番号を割り振り、行政機関等が保有する当該個人情報を一元管理することにより、効率的な情報管理を行うことを目的としている。
2. 本法は、個人番号を割り振った後、全員に個人番号を記載したICカードを発行し、希望者には当該ICカードに顔写真を表示することとしている。
3. 本法は、個人番号の利用範囲について、当初は、税及び社会保障の分野に限定しており、病歴及び投薬歴等の診療情報も含むとしている。
4. 本法は、個人番号を利用した情報提供ネットワークシステムの運用開始に合わせて、低所得者に対し、税額控除だけでなく一定の場合には現金給付も行う給付付き税額控除を実施すると明記している。
5. 本法は、個人番号その他の特定個人情報の有用性に配慮しつつ、その適正な取扱いを確保するために必要な措置を講じることを任務とする特定個人情報保護委員会を設置することとしている。

[No. 38] 非嫡出子の遺産相続分を嫡出子の半分と定めた民法の規定を違憲とした昨年9月の最高裁判所決定に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 最高裁は、現在、我が国以外で嫡出子と非嫡出子の相続分に差異を設けている国について、欧米諸国ではドイツ及びフランスだけになり、世界的にも限られた状況になってきているとした。
2. 最高裁は、現在、我が国の戸籍法における出生の届書の記載が、嫡出子と非嫡出子とを区別することなく、一律に子と記載することに改められるなど、嫡出子と非嫡出子とを同様に扱うようになってきているとした。
3. 最高裁は、法律婚という制度の下で父母が婚姻関係になかったという、子にとっては自ら選択ないし修正する余地のない事柄を理由として、その子に不利益を及ぼすことは許されないという考えが確立されてきているとした。
4. 裁判官の中には、民法の当該規定について、法律婚の尊重と非嫡出子の保護との調整を図ったものであり、嫡出子と非嫡出子とを区別することは合理性を有し、憲法に反しないとする反対意見を述べる者もいた。
5. 政府は、最高裁が本決定を出したことを受け、当該規定を削除する民法改正案を本年1月から始まった通常国会に提出し、同改正案は、両議院において可決され、成立した。

[No. 39] 昨年9月に開催された20か国・地域（G20）首脳会議（サンクトペテルブルク・サミット）の首脳宣言に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 世界経済について、アメリカでは民需が強まり、日本では成長が強まっているが、イギリスでは依然として回復の兆候がみられないとした。
2. 財政の持続可能性を確保することがG20の最優先課題であるとし、すべての先進国は信頼に足る意欲的な各国共通の財政再建目標を設定するとした。
3. 各国の金融政策の変更については、慎重に調整され、明確な説明がなされることとし、為替相場の安定を目的とする外貨準備基金を創設するとした。
4. 銀行を通さない金融取引であるシャドーバンキング（影の銀行）について、監視と規制を強化するとした。
5. シリア国内での化学兵器使用疑惑をシリア政府の責任とし、国際的な強い対応を求めるとした。

[No. 40] 本年4月に我が国において発効した「国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約（ハーグ条約）」及び本年4月に施行された同条約の国内での手続を定めた関連法に関する記述として、妥当なのはどれか。

1. 本条約では、国際結婚が破綻した夫婦間の16歳未満の子の取扱いを定めており、我が国が締結したことにより、主要20か国・地域（G20）のすべてが締約国・地域となっている。
2. 本条約では、一方の親が16歳未満の子を無断で国外に連れ去り、他方の親の監護権を侵害する場合、他方の親から返還の要求があれば、原則として、その子をいったん元の居住国に戻すことを義務づけている。
3. 本条約では、締約国に対し、連れ去られた16歳未満の子の所在確認等を担う政府機関として「中央当局」の設置を求めており、関連法では、我が国における「中央当局」を厚生労働省と定めている。
4. 関連法では、我が国への連れ去りにより16歳未満の子の監護権を侵害されたとして、その子を元の居住国に戻すことを求める申立事件は、地方裁判所の管轄に属すると定めている。
5. 関連法では、16歳未満の子を元の居住国に引き渡すことによって、元の居住国にいる親から暴力その他の虐待を受けるおそれがある場合、引渡しを拒否するためには、元の居住国の裁判所に申立てをしなければならないと定めている。

平成26年度 I 類B採用試験・教養問題（一般方式）正答

No.	正答
1	3
2	4
3	5
4	2
5	4
6	3
7	3
8	5
9	5
10	4
11	3
12	5
13	2
14	4
15	5
16	4
17	3
18	2
19	2
20	5
21	1
22	2
23	5
24	1
25	4
26	5
27	4
28	2
29	5
30	1
31	2
32	3
33	4
34	1
35	1
36	5
37	5
38	3
39	4
40	2